

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	23-9																																						
PDCA	主要事業名	洪水調整機能改良事業(ため池)	部課名	建設部土木課	担当	加古																																							
					内線	434																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和元年度～3年度 全体事業費等： 25,532千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.03.03.02.53 3か年実施計画(当該年度事業費等)： 7,400千円																																												
	事業概要等	事業概要： 降雨による浸水被害の軽減を図るため、ため池の有効活用により、都市化の進展による保水能力の低下や局所的な集中豪雨に対応した貯水能力を確保する。																																											
		事業目的： 降雨による浸水被害の軽減																																											
		事業内容： 保水能力の向上を図るため、既存の洪水調整機能を改良する。																																											
		問題点・既存のため池放流施設などを有効活用して改良するため、利水関係者や地元課題等：と調整を行い整備をする必要がある。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	7,357千円	水害対策が可能なため池の放流施設を改良することで、洪水調整能力の機能強化を図り、降雨による浸水被害を軽減させるため。																																											
	財源内訳																																												
	市費	得られる成果																																											
	7,357千円	ため池の保水能力を向上させることで、浸水被害のリスク軽減に繋がる。																																											
	国費																																												
	0千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①ため池調査数</td> <td>実績値</td> <td>82.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②洪水調整機能改良工事</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>—</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>8.0</td> <td>28.0</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	①ため池調査数	実績値	82.0	—	—	箇所	目標値	80.0	—	—	箇所	②洪水調整機能改良工事	実績値	—	8.0	—	箇所	目標値	—	8.0	28.0	箇所	その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
	①ため池調査数	実績値	82.0	—	—	箇所																																							
		目標値	80.0	—	—	箇所																																							
②洪水調整機能改良工事	実績値	—	8.0	—	箇所																																								
	目標値	—	8.0	28.0	箇所																																								
その他	実績値																																												
	目標値																																												
0千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	987千円	余水吐きの改良工事を行い洪水調整機能の強化を図ったことにより、浸水被害のリスク軽減に繋がった。																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">洪水調整機能改良箇所数</td> <td>実績値</td> <td>7.0</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>28.0</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和3年度	単位	洪水調整機能改良箇所数	実績値	7.0	箇所	目標値	28.0	箇所																												
	成果指標		令和3年度	単位																																									
	洪水調整機能改良箇所数	実績値	7.0	箇所																																									
		目標値	28.0	箇所																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 洪水調整機能の強化及び下流の河川等への流出抑制を目的として、7箇所の改良工事を実施し、ゲリラ豪雨等に対する浸水被害の軽減を図ることができた。なお、洪水調整施設の操作を行う際には、地元関係者や利水管理者などと調整して実施する必要がある。																																											
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	終了																																											
	観点別評価	必要性	有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性	④上位施策への貢献		⑦コスト削減余地																																								
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地																																										
		③休廃止の影響	⑥類似事業の有無		⑧受益者負担適正化余地																																								

目標項目(予算計上時に作成)

主要施策の成果報告書で活用

評価項目(決算時に作成)